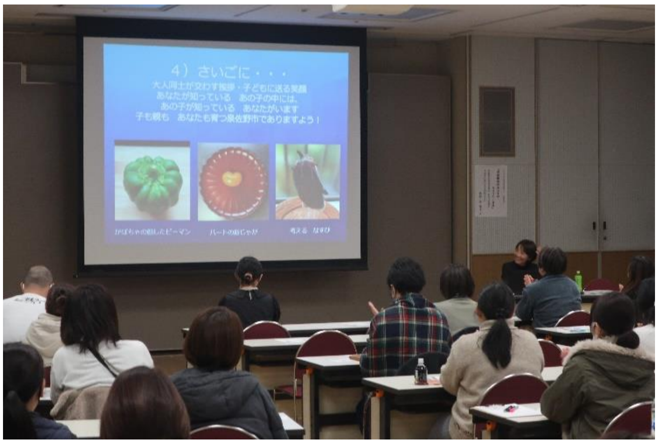
令和 8 年 1 月 23 日(金)10：00～11：30 泉佐野市立レイクアルスタープラザ・カワサキ生涯学習センター多目的室にて第 7 回泉佐野市立児童発達支援センター主催研修会を実施しました。

今回は、西宮市社会福祉協議会あおば診療所でご勤務されております金 泰子先生をお招きし、『発達障害のある子の「きょうだい」を支えるために』をテーマにご講演いただきました。保護者 28 名、支援者 39 名（小中学校・支援学校・こども園・幼稚園・保育園・医療、保健関係者・事業所等）計 67 名の参加がありました。

研修会では、きょうだいが抱えている思いや周囲の大人がどのように関わることが大切なのかということを、実際の事例を交えながらわかりやすくお話していただきました。こども一人一人を“一人の大切な存在”としてみていくことや、今のその子を見てしっかり話を聞くこと、過剰に褒めたりしないことも大切だということなど、たくさんの意識していく視点を教えていただきました。

参加者からは「目の前の支援対象のこどもに目がいきがちですが、“そのきょうだいに注目する”その視点に気が付かされた気がします。」「きょうだいは、一人の人間として存在しているのであり、きょうだいのことを知り、何でも話してもらえる、安心できる存在となれるような関わりをしていきたいと思いました。」等、今後の支援に生かしていこうという前向きな感想をいただきました。

今回初めて保護者と支援者で一緒に学べる機会を設定させていただきました。今後もこどもたちに関わる保護者、支援者の皆様とともに一緒に考える機会を持っていきたいと思います。